

【調査報告】

パパ活女性（PJ）へのインタビュー調査報告

—パパ活とはどのような行為なのか？—

Report of an interview survey of sugar babies (PJs)

—What kind of act is sugar dating?—

圓田 浩二⁽¹⁾

Koji MARUTA

専門分野：社会学

1. パパ活女性（PJ）へのインタビュー調査の目的

論文「「パパ活」の定義論—「援助交際」と何がどう違うのか？—」⁽²⁾では、書籍、雑誌記事、ネット記事、インターネット掲示板、学術論文における「パパ活」の内容分析を用いて、パパ活とはどのような行為・コミュニケーションなのかについて論じた。

しかし、「パパ活」という行為・コミュニケーションが実際にどのように行われているのかについては、実態調査を行わなければならない。「パパ活女子」や「パパ」にコンタクトをとって、できれば対面でインタビューを行う必要がある。もしかしたら、パパ活の実態は、上の論文で定義した行為・コミュニケーション内容とは全く異なっている可能性はゼロではない。また、実際にパパ活を行っている「パパ活女子」や「パパ」がどのような特徴や特性を持っているのか、「パパ活女子」たちや「パパ」たちに共通する項目や特徴はあるのか、あるいはその平均像を記述や想定できるのかといった問題が残っている。

そこで、筆者は出会い系サイトやパパ活アプリに登録し、「パパ活女子」にインタビュー調査を行った。面接インタビューから、「パパ活女子」の生育歴、初体験と交際、パパ活の行為内容、パパ活のエピソード、トラブルとリスク管理、友達のパパ活、抱えている問題点、パパ活の継続意志などについて、項目ごとに情報を得た。6人のパパ活女子、通称「PJ」のインタビューの詳細な報告を行う。

2. 調査方法

パパ活のインタビュー調査は、2022年7月2日から2022年8月7日までの間、約1ヶ月の間に行われた。方法は、『ワクワクメール』と『ハッピーメール』の2つの出会い系サイト、『Love&（ラ

(1) 沖縄大学 法経学部法経学科教授。

(2) 圓田浩二「「パパ活」の定義論—「援助交際」と何がどう違うのか？—」2022年9月『沖縄大学経法商学部紀要』第5号所収。

ブアン』というパパ活アプリに登録し、インタビューを探した。インタビューを探す方法は、①これら出会い系メディアに筆者が登録し同じ出会い系メディアを使用している女性からのコンタクトやメッセージを待つ、②これら出会い系メディアに登録している女性たちにコンタクトを採りメッセージを送る、③掲示板やタイムラインに投稿した女性たちにメッセージを送るという3つで行った。

パパ活女子（PJ）たちにとっては、彼女らが行っている「顔合わせ」や「お茶」と同じ金額を支払うので、その点は納得できたと考える。また「取材」とか「インタビュー」といういかにも怪しげな名目で個室のカラオケボックスに連れて行かれるのは、さぞいぶかしく不安だったと考えられる。ともあれ、6人のパパ活女子（PJ）たちの話に耳を傾けてみよう

3. インタビュー調査

3-1. ナナミ（画像1）

生い立ち

ナナミとは、大阪梅田で2022年7月2日に会い、インタビューを行った。22歳の元キャバ嬢で、身長160センチで、バスト82、ウェスト59、ヒップ75と聞いた。スリーサイズを言える、言う準備があるということは、男性から尋ねられて計測したからである。つまり、自分の性的商品価値に敏感であるということである。彼女は滋賀県出身で高校卒業と同時に地元を離れ、「大阪の北」でキャバ嬢として働いてきた。キャバクラを辞めたのは1ヶ月前である。現在は、大阪の大国町（風俗店が多い）に友達のデリヘル嬢とルームシェアをして住んでいる。両親は彼女が小学校に入った頃に離婚し、シングルマザーによって育てられた。



〔画像1 ナナミさん
：大好きなブランド物バックを持っている 2022.7.2 筆者撮影〕

キャバ嬢

キャバ嬢は、北新地で時給7,000円から始めて、19歳ぐらいには時給換算で「2万とか3万円」を稼げるようになったという。1ヶ月前にキャバクラを辞めるまで、キャバ嬢として働いてきた。貯金は100万円くらいある。「夢は、整形して、キャバ嬢でナンバーワンになって、自分のお店（キャバクラかアパレル）たてたい」である。「整形はどこをどういじるのか」と尋ねると、「顔を全部、鼻ちっちゃく、韓国系の顔があんま好きじゃない。フランス人形みたいな、お人形さんみたいな顔が良い」らしい。

パパ活

パパ活を始めたのは、1週間前からで、「（友達の）ホストから教えてもらった」。使用しているアプリは、『paddy（パディ）』と『Love&（ラブアン）』で、「パディの方が圧倒的に会えてた」らしい。パパ活アプリに登録して、「プロフィール設定したら1日にめっちゃ「いいね」がもう

100件くらいくるから」、パパを探すにはあまり苦労しないようだ。2022年7月2日に筆者と会ったが、この日は『Love& (ラブアン)』で約束できた人が多く、「今まで4人ぐらいラブアン) 会ってるんですけど、今日ラブアンめっちゃ多くて、「今日は全部で11万をパパ活で稼ぐ」ので、正午から「22時くらいまで予定がある」。つまりパパ活のはしご(掛け持ち)である。会うのは、「経営者ですね。とか、お医者さんとか」で、1時間以内の食事で1.5万円を連続してスケジュールリングして稼ぐ。夜には大人(性交)で4万円を稼ぐ。彼女は、会った土曜日に「朝8時に起きてそこから正午の12時までずっと探して、で昼過ぎからの予定がバーって見つかって感じなんですよね」とパパ活のアポを途切れなく入れて、11万円を稼ぐようだ。この日は、スケジュールの時間の空気が1時間あったので、筆者と会う時間ができたようだ。食事1時間以内で1.5万円だが、はしごをするので、ほとんど食事には手をつけないという。理由は、すぐに満腹になるし、太るからだという。筆者が「おじさんたちはその食事で1万5千円とか何を目的にやってると思う？」と問いかけると、「たぶん普段若い子と喋ることがないから、たぶん楽しいんやないかなと思うんだけど」と答えている。

パパ活の「食事」とキャバクラの「同伴」

キャバ嬢を経験している彼女から見れば、パパ活の飲食は、キャバクラの「同伴より楽」で「パパ活の方がまあ、稼げるっちゃ稼げますね」。キャバクラの「同伴はコース料理嫌いなのにコース料理行かされるから嫌なんですよ」と答えている。そして、キャバクラの同伴で稼げる金額は「同伴はまあ、2,000円、3,000円」で、パパ活での食事の方が圧倒的に稼げるようだ。そして、キャバクラ時代に磨いた「トーク力」でパパたちを飽きさせず、楽しませているらしい。

パパ活の実態と理想

パパ活経験人数は「20人以上」で、「相手の男性の容姿は10段階で言うと3くらい」のモテない男性が多いようだ。1週間前にはじめてのパパ活は「飽き性なんで飽きるまで」続けるらしい。彼女のパパ活の行為内容は、「食事で1万5千円」で会ったのが20人近く、「大人4万円と5万円」で3人くらいと会っている。食事には手をほとんどつけないが、自慢のトーク力でカバーする。「結構なんか喋るのが好きやから。トーク力は結構あるって言われる方なんで」。大人の人数が少ないのは、大人の価格は4万円以下だと絶対やらないと決めているからだ。パパたちと行う大人は「マグロ」状態で、「先にお金もらうから」一所懸命にパパたちを性的に楽しめさせる必要ないようだ。「ゴムは絶対つけます」というゴムあり(ゴムなし、つまり「生」を男性は望んでくる、パパ活用語のNS(no skin))で、フェラチオも「フェラ絶対できないんで、自分。顎悪いんで」とNGで、「キスもナナミNG」である。「いろいろナナミNGです。だから風俗とかは絶対無理なんで」と、性風俗店には勤めることができないと語る。

「パパ活と聞いて浮かぶ言葉」は、「お金、買い物、ブランド(バーバリーとディオール、プラダ)」で、現在はブランド品にはまっているようだ。地元の滋賀の中心都市大津市ではパパ活は「流行ってない」らしく、大阪梅田や難波で活動を行っている。理想とするパパ活は、「太パパ」を見つけることである。「月に4回くらい(会う)。週1くらいで会って、買い物(に)連れて行ってもらって」「月100万円くらい欲しい。パパに対しては何もしたくない」と語っている。

彼女は、キャバクラ勤めのストレスが原因どうかは定かではないが、ホスト遊びにはまっている。「ホストはもうでも、抜けれるっていうか、やめようと思えば辞めれるって感じ」であるが、「半年ちょい前くらい」から始めて、ホストクラブに「一回50万 (円) 置いていく (支払う)」時もあるが、「1万 (円) の日もある」。

友達

同居している友達は、デリヘル嬢で、「ホストにハマって」いる。パパ活は相手を探すのがたいへん難しく、「朝6時に寝て朝8時から (パパ探しを) やってるから、6時までも探して、そこから8時から探してるから」、その友達に「何してるんって言われて」たりする。「え、まだやってるよって言ったら、まじ？頑張るなあ」と言われる。その友達もパパ活をしていたが、「もう嫌で辞めた。その子もそっちの仕事してても辞めちゃって。もうデリ行ってる方が楽って言い出して」、パパ活は辞めてデリヘル (デリバリーヘルス) に行ったらしい。その友達は、「1日6万で何本 (男性器のこと) も」啜えてしゃぶって、「夕方4時から夜中の3時まで働くって」、「それで大体6万くらいって言って」いる。つまりデリヘルは、午後4時から午前3時まで待機場場において、男性客が付くとラブホテルなどに派遣されて、フェラチオなどを行い、1日に6万円の稼ぎである。この場合、嬢と店の取り分を1:1とすると、彼女は12万円を売り上げることになる。それに加え、デリヘルの出張で「秋田とか大分とか」に出稼ぎに行き、「12時間働いてそれで1日9万 (円) とか」である。

別の友達は「ホスト (に) 行ってる子がパパ活してて、(ホストクラブに) 月500万 (円) くらい使うんですよ」。その友達は「そのパパと一緒に住んでるらしいですよ。400、500 (万円) 貰えるみたいな」パパ活をしている。しかし、400、500 (万円) はうらやましいが、パパと一緒に住むようなパパ活したくないそうだ。

恋愛不全

初体験は18歳で高校3年生で、彼氏ができて長続きしないようである。彼女は、「えーちゃんとした恋愛したことないかも」と話し、「何ヶ月続いたのが最高？」と尋ねると、「3 (ヶ月) とか」と答えて、「まともじゃないでしょ？自分に問題があるんですよたぶん。何か気持ち悪いってなっちゃう」と自分が問題を抱えていることを自覚している。「気持ち悪いって、あんまり性的なものに興味ないのかな」と筆者が尋ねると、「ないです」と答えている。そして、「自分、普通の一般の人を好きになることがないから。自分よりお酒強くて、お金持ってて、余裕があって、顔が良い」男性を探していると語る。

高校時代のパパ活

高校3年の同級生で、「パパ活してる子とか多分おった」と話し、女子高校生は「女子高生ブランドがつく」ため、高額を稼げると話す。その友達は、「ディオールとかのリップ全種類コンプリートとかしてたから、すげえ金持ちやと思ってたら」、同級生からその子の家は別に金持ちではなく、「友達に家そんなやでって言われて」、パパ活を行っていると知った。

援助交際とパパ活

筆者が「援助交際って言葉は知ってる？」と尋ねると、「知ってますけど、交際はしてない」と答え、援助交際の意味を理解してなかった。

まとめ

ナナミさんは、元キャバ嬢で、接客スキルを身につけており、パパ活でのパパとの食事にも抵抗がない。パパ活用語で言うところの「元プロ」である。1時間以内で1.5万円を稼げる効率のいいバイトと考えている。その上大人も金額4万円を設定して行っている。パパ活で経済的稼げることは、キャバクラでの同伴でもらえる報酬2千円や3千円と比べると、その優位性があるだろう。また強い整形願望も持ち、ホストクラブにハマっており、彼女自身の恋愛パターンに問題を抱えている。筆者が以前提示した援助交際女性の類型で言うと、バイト系とAC系（現在ではメンヘル系）に相当するだろう。

3-2. らん（画像2）

生い立ち

18歳のらんさんとは、2022年7月4日に沖縄県那覇市で会った。当時18歳であるが未成年ではない。彼女の生い立ちはかなりというか、ひどい生い立ちである。彼女は、沖縄の東風平で生まれ、東京の養護施設で小学6年から中学2年までを過ごし、中学3年で母親のいる宮古島へ赴いた。卒業後沖縄本島にやってきて15歳から非合法キャバクラで働き、18歳になって性風俗で生活費を稼いできた。身長148センチで体重47キロ、バストはBカップである。初体験は中学3年、相手は同級生である。また、16歳の時に付き合ってた男性（同年代）との間に生まれた2歳の男子がいて、父親とはその子が生まれる前に別れている。シングルマザーである母親は宮古島で建設業に従事していて、兄弟姉妹が5人いる。本島南部に住む父親とは連絡がない。



[画像2 らんさん：後ろ姿
2022.7.4 筆者撮影]

キャバクラとメンズエステ

15歳から沖縄市の未成年が働くことのできるキャバクラで働く。そのキャバクラには、キャバ嬢は「16、17（歳）しかいない」おらず、摘発を受け、つぶれたようだ。その後、松山のキャバクラとメンズエステ（風俗）で働く。

松山のキャバクラでは、週5日勤務で月30万円を稼ぐ。(店に)「午後9時くらいに入って、午前3時くらいに終わる」。「時給3千円で1時間いたとして、指名バック1千円で、同伴3千円、つまり同伴のバック（キャバ嬢に戻るキャッシュバック）が3千円で、でもそれだけで7千円で。あとドリンクとかで稼ぐ。ドリンク代は一杯600円、1千円払ってもらって(キャッシュバックで)600円貰ってる」と話す。

メンズエステ(風俗)は2ヶ月間働いている。店で7時間働いて4,5万円を稼ぐ。料金体系は、60分1.2万円コースで取り分が6千円である。エステの「残りの10分くらい手で抜いて」稼ぐ。「店舗内だと5千円」、客とホテルに行けば「ホテルだと1万円」が客から支払われる。そのうちホテルへの出張費1万円のうち、「5千円はお店に取られる」。それを聞いて筆者が「じゃあ、あれだよな。自分でやったほうがいいよね」と尋ねると、「だから、うんー、援交とかだったら、フルバックだから」と店を介さない方が得であるとわかっている。彼女は、「店に黙って」メンズエステの客と「ホテルで性交して2万(円)とか」をもらっている。彼女の同じメンズエステの「友達は60万(円)稼いでる」と話す。

援助交際

5人くらいの経験がある。1人目は、中学2年生の時に友達のお父さん(60歳後半)が相手だった。性交(男性器の挿入)は行わずに相手の男性器を「手でシュッシュってやるとか、口でやる」。おかげで処女は失わずに、「1回3,4万円」をもらっていた。初体験中学3年生より時期が早いことに注意すべきである。2人目は、ツイッターの「dm(ダイレクトメール)が来る。変な人から」3,4万くらいで性交をする。3人目、「キャバクラのお客さん」、「本番で4万くらい」、ピルを飲んでいるので生で行ったが、中出しはなしで終わった。沖縄の那覇では2人と援交した。中には、援助交際相手の紹介をしてあげるといふ人がいて、「朝まで付き合ってくれたら15万くれるって。でも途中で連絡取れなくなっちゃって」、なしのついでである。

性体験数

現在まで援助交際以外で性交をした人数は、「30人くらい」、関係が続いたとしても半年以内で終わる。ちなみに、「エッチは好き(笑)」と話す。最後の性交したのは、4日前にパートナーとのセックスで1回だけの関係で終わった。沖縄には同級生の友達に「好きな人がいる」。

嗜癖

「飲みに行く」、買い物「ニトリとかで2万くらい使っちゃう」、「なんか食材いっぱいある、お家に。あんま自炊しないのに」。借金があり月30万円の稼ぎでも足りない、つけ(ローン)がたくさんある。借金と飲酒、買い物依存症を持っている。

友達のデリヘルの子って月に100万円くらいは稼いでるが、ホストで1回40万円くらい使っていた。「風俗の例の子がパパ活とか援交とか全部やってる」。

Love&(ラブアン)

自分で「パパ活とか援交をネットで調べてて」、1ヶ月前くらいに登録した。登録すると本当に8人からメッセージが来て、4人(52,34,39歳など)とやりとり中である。男性がLove&(ラブアン)を通して言ってくるのは、「写真ちょうだい」、「会う条件を教えてー」が多い。「大人」目的が多く、「ホ別で1.5(万円)くらいかな」を打診してくる。この価格は東京や大阪の大人相場と比べると格段に安い。半値くらいである。

援助交際とパパ活の違い

「え一分かんない。エッチ（性交）するかしないか」、「わかんない。パパ活は食事だけとかでもいいし」と、援交とパパ活の違いはあまり気にせず、ネットに載っているように「パパ活は食事だけとかでもいい」と考えている。

まとめ

らんさんは、生育歴と現状がひどすぎてなんとも言えなくなる感じである。このままだと彼女の生活は成り立たず、2歳の子供は彼女と同じように施設に預けられるだろう。未成年からキャバクラで働き、キャバ嬢とメンズエステ嬢で月35万円くらいを稼いでいる。パパ活用語で言うところの「現プロ」である。彼女が最初に援助交際を行ったのは、2016年頃でその頃にはまだ「パパ活」という用語は一般的に定着していなかった。そのため、援助交際とパパ活の違いもわからないと語っている。また男性経験30人以上で男性との安定した恋愛関係も築けない。嗜癖も持っている。筆者が以前提示した援助交際女性の類型で言うと、バイト系とAC系（現在ではメンヘル系）に相当するだろう。

3-3. みく（画像3）

生い立ち

みくさんとは、東京新宿で2022年7月16日に会いインタビューを行った。26歳のOLで、身長155センチで体重49キロ、バストはEカップで、自己評価で容姿3（10点満点）、耳に障害があり生まれつき片方の耳が難聴である。神奈川県に住んで働いている。商業高校卒で、運送会社で事務の仕事を9年間続けているが、手取り20万円以下と生活は苦しい。家族は両親が離婚しており、現在は母、おば、弟と同居している。結婚願望はあり、「30歳までに結婚したい」と言う。

初体験と恋愛

初体験は高校2年の時で、その後5年間付き合ってから別れた。その後、その後2人の男性と付き合う。現在付き合っている男性はいない。

パパ活

パパ活を始めた理由は「残業できない」からである。使っている出会い系メディアは、出会い系サイトの『ワクワクメール』と、パパ活アプリ『paters（ペイターズ）』と『PJ』である。3人の男性と会っている。

パパ活については、「私そのパパ活のアプリで（男性と）付き合うとかは絶対ない」。パパ活は「彼氏できたらやめる」。筆者が「食事1（万円）とかってやっぱり（金銭的に）大きい？」と尋ねると、「大きいと思うね」と答えている。また、パパ活のアプリ内におけるメッセージの



[画像3 みくさん 出会い系サイトで自分で公開している写真]

段階で、耳に障害があると言うと、「障がい者がやるな、ブスとか言われたことがある」。

今回のインタビューは『ワクワクメール』（彼女は1年以上前から使っている）で会う。1人目は『ワクワクメール』で出会い、2021年8月に愛媛県在住の自称「会社役員」50代の男性で、彼女から見れば容姿5の評価である。1万円で会い品川で2時間イタリアンを食べた。「品川に出張で来てる人がそれで募集してて夜ご飯食べたいって。あっラッキーと思って普通にご飯食べて終わり」だった。「私ぶっちゃけそんなすごいブサイクな人でもお金を貰う以上に真摯に向き合わなきゃいけないんだから」と、食事中はちゃんと食事をして男性の話しに付き合ったようだ。男性からは別れ際に「俺毎回違う子と食べたいからもう次はないよ」と言われた。次回は「ないよ」と言う事実上の「1回切り」である。

2人目は『PJ』で出会い、大阪から来た年商3千万円の自称「社長」の60歳の男性で、彼女から見れば容姿5の評価である。「太ってたかな。ぷよぷよ。まあでもそれはそれで別に身なりもちゃんとしてた」。品川で会って、2時間高級寿司で食事デートを行い2万円を受け取る。態度とかコミュニケーションとかが良かったのか、「そんな時に面白かった言われて2貰いましたよ（約束した金額より多くもらった）。1回きりの出会いであった。

3人目は『ワクワクメール』で出会い、2022年2月にIT系のオタクっぽい30代前半の男性で、彼女から見れば容姿6の評価である。新宿で、食事と「洋服選んで欲しい」というショッピングを含むデートを3時間行って、謝礼1万円、服代0.5万円の計1.5万円であった。ショッピング・デートと言っても、「手を繋ぐとか腕を組むとかもないし、それは1人目とか2人目とか会った人も何もしてない」。「(手をつなぐ)してない。それはムリ」で、理由は「体触られるの嫌だから私」である。

ドタキャン

行為内容と日時と場所を取り決めても、現れないドタキャン「3回くらい」ある。彼女はツイッターで晒すという行為を報復で行っている。「ドタキャンされる時に写真、スクショとかとっておいてツイッターにあげて、ツイッターにそのbotっていうのがあるから、その人に送ってお願いしますっていつて」、ツイッターの晒し機能を使って写真やスクショを公開し、「こいつ、ドタキャン野郎です」といった晒しを行っているようだ。

大人目当て

みくさんは、性交も、性的行為も、身体的接触も一切なしのパパ活を行っている。しかし、なかなか相手が見つからない。彼女曰く、その理由は「みんな大人の関係が増えてきて、大人の関係で少ない額でやる女の子が増えているから、みんな大人目的で会ってくるから。私嫌なんですよ、大人目的で基本的に出会うのは」と語るように、「2.5から3（万円）」という少額で大人を行う女性たちが増えてきているためである。また「風俗の人たちがこっちの業界におりてきて、それが多分業者って言われる人達だけ」と、元プロや現プロがパパ活市場に参入して、業者が参入しているため、食事のみで会うことが難しくなっている。パパ活相場の下落は、「食事でオンリーでやってる子とかはその子達に対してプチギレてる。え、だって普通のご飯で5（万円）貰える子とかでもエッチできる子が2.5（万円）とかでやってるんだったらそりゃそっちにいきたいじゃ

ん」とパパ活市場の変化を語る。

身体接触を拒む理由は、元彼からクラミジアを移された経験があり「病気とかうつされたくない」からである。彼女にとっては、大人は「絶対にしたくない」行為である。

パパ活女子のメイン層

「パパが探してるのって大学生だったりとか20代前半だったるする」ので、ますます食事やデートだけのパパ活で稼ごうとするのは難しくなっている。元プロや業者が参入し、「2.5から3（万円）（実際もっと安い）」で大人を行うようになれば、みくさんのようなパパ活女性は出会いがなくなる。

パパが求めているもの

筆者が「パパ活男性は3人と会って、女の子に何を求めていると思う？」と尋ねると、「癒し」と答えている。そして、男性たちはクラブのホステスやキャバ嬢のようなプロの接客ではなく、「素人感を大事にしてるんじゃない」と分析している。また、筆者がパパ活をやった時点で女性側は素人ではなくなるのではという問いに対しては、「お金を払ってまでそういうサイトにあなたが登録してるんだから私も同じようだって思う」と答え、お互い様であると語っている。

パパ活と援助交際の違い

「（援助交際という言葉を）聞いたことあるけどそれなんか多分、ほぼ同じだよね。イコール、えーお金渡してやるとか」と話し、援助交際とパパ活は同じだと語っている。

まとめ

みくさんは、「残業できない」からパパ活を始めたが、顔合わせと食事のみのパパ活で、1年間で3人と会っている。使っている出会い系メディアは、出会い系サイトの『ワクワクメール』と、パパ活アプリ『paters（ペイターズ）』と『PJ』であるが、3人というのは少なすぎるように感じる。26歳OLで、顔合わせと食事のみのパパ活で出会うことはかなり難しいことであることが分かる。元彼氏から性病を移された経験もあるが、大人を嫌悪している。典型的な「茶飯女」である。また耳に障害があり、家族関係にも問題があるので、筆者が以前提示した援助交際女性の4つの類型では、バイト系とAC系に該当する。



3-4. まり（画像4）

生い立ち

まりさんとは、東京新宿で2022年7月17日に会いインタビューを行った。中央大学の2年（19歳）で、身長165センチ、

【画像4 まりさん
：上半身顔下の写真
2022.7.17 筆者撮影】

53キロ、Cカップ、目を二重に整形している。整形の効果は「マスクなので余計(目立つようになった)」、つまり効果ありと話している。家族構成は、メーカー勤務の父(55歳)と専業主婦の母、妹である。「親が、多分1番やばいですね」と親バレが一番恐れている。バイトは「パン屋時給1,200円」で、「扶養とかあるんで、バイトとかだと。103万を超える(103万円までは非課税である)」ので、パパ活でお金を稼ぎたいと言う。結婚は28歳までにしたいと話す。

性体験数

今まで彼氏は4,5人いた。初体験は、高校3年生の時、10ヶ月付き合ってから別れた。『ティンダー』という出会い系サイトで、彼女から見れば容姿9のセフレと付き合う、2回会った。「はい、『ティンダー』は多分、顔がカッコいい人が多いんで。今は1ヶ月前に付き合い始めた彼氏がいる。パパ活は「いや、バレてない」らしい。性交は、彼氏と「いや、してるんですけど…まあ、向こうがあんまり大きくないサイズが」ので、不満がある。「だから、あんまり中でイクのもないです」。でも彼氏のために「イクふりはする」。またオナニーは「(クリトリスをいじること)そうです。中には入れないです」と話す。

パパ活

パパ活で利用しているアプリは、『シュガーダディ』と『Love&(ラブアン)』、『ペイターズ』である。

1人目は、2022年5月初旬に『シュガーダディ』で出会った50代前半サラリーマンで、容姿6くらいで、Sっぽい感じの人だった。顔合わせと大人で4万だった。銀座のカフェで会って、タクシーでシティホテルに向かって、性交を行った。「普通にゴムあり」で「あんまり、条件で4の人があんまりいなくて…(笑)」と話す。つまり、19歳の女子大生でも都内を中心としたパパ活市場の競争は激しく、ゴムありで4万円の男性がなかなか見つからなかったということである。まりさんの最初のパパ活は、チェックインして大体1時間くらいで終わった。「向こうも多分予定があって、私もそのあと大学があったので…。」筆者が「友達は全然、知らないよね?パパ活でエッチしてホテルで1時間ほど」というと、「(笑)そうですね」と笑っていた。性交そのものはフェラチオありで、彼女はほとんど動かずに、「濡れるくらいはあったんですけど、気持ちいいとは思わなかった」ようだ。

二人目は、2022年5月下旬に40歳くらい裕福な会社員で、『Love&(ラブアン)』で出会った。「その人も条件が良くて、最初顔合わせして1とか、で大人でプラス4とかの人で、しなくても2時間ホテルにいただけで2(万円)」を払ってくれる男性だった。結局、彼女は、「こっちからは何もしなくていい」という条件で新宿3丁目のラブホで2時間一緒に過ごし、2万円を受け取った。彼女は何もしなくてよいので、「ちょっと上着で開いてる状態みたいな。全部、脱いではない」状態で、テレビの「バラエティー(番組を)見」ていた。しかし、キスもされ、「結構その人は触っ



[画像5] まりさん
パパ活サイトに掲載した
自己紹介写真]

てきました。全体的に」。そして、手マンもされたが、大人なしで「条件がいいから（2回目はあり）」だと話していた。

3人目は、2022年6月の最初くらいに、芸能の裏方の仕事をしている35歳の男性で『Love&（ラブアン）』で出会った。東新宿で会い、「顔合わせと食事で1（万円）」でイタリアンを食べた。会っていた時間は「1時間とか」とかで「移動とかも含めて1時間半」のパパ活であった。

パパ活で合計9万稼いだが、その使い道は「脱毛とかに行ったりとか。あんまり、モノには使わないですね」。パパ活相場は「下がってますよね？」と思っているので、大人4万円の人を探すのは難しい。

出会い方

男性の選び方は、「なんか長く話してもあんまり話が進まないとか、予定が先になっちゃうと面倒くさいなと思っちゃうので」「結局会う人はその日とかに会っちゃいますね」と語る。つまり、事前の長いメッセージのやりとりはせず、その日の空いている時間で会ってしまう。そのため、プロフィールからではなく、「タイムラインから行くことが多いですね」と話す。「タイムラインだと今！今！ってなっているの」ので、例えば「今新宿にいます」という投稿者のタイムラインにメッセージを送る。条件さえ合えば、すぐに出会うことができる。

パパ活のきっかけ

パパ活は、「大学のサークルの飲み会でなんか友達がやってて」、「まり」の名で『シュガーダディ』と『Love&（ラブアン）』に登録した。「今彼氏できたから、ちょっとあれかなー（やめようかな）」と考えている。

今やるしかない

自分の売り時は「今しかないですね」と話し、「なんか今20歳前なので、やるなら今しかないかなーって（笑）」と考えている。「あと大学生って一番暇なんで。時間があるし、授業がない平日の日とかもあるので、コスパ良いかなって思っちゃいます」と答えている。知らない年上の男性との食事については、「食事はそんなに抵抗ないですね」と話す。またパパ活での性交については、「あー、それは抵抗ありますね」、「彼氏がいること。んー、まあ良いことではないなって。普通に、自分がやる前はなんか、（パパ活を）やってる人に対しても抵抗があったので、そういう意味ではありますね」と彼氏には申し訳ないと感じている。

友達のパパ活

「大学ですよ。パパ活は、（10人のうち）2人やってて多いほうかなって思います」と話す。友達の1人は、50歳くらいの男性と「月15から20（万円）、結構時間が縛られるみたいで、3、4回会ってみたい、お昼前から会ってランチとかして、夜終電間際」に帰る。長時間拘束という縛りがきついで、それなりの大金ももらうにはそれなりの代償が必要である。

父親がパパ活をしていたら

筆者が「もし、自分のお父さんがパパ活をしていたらどう思う？」と尋ねると、彼女は「まあ、嫌ですね」と答え、筆者が「やってるかもしれないけど？」と更に尋ねると、「まあ、それは思いました」と話す。

援助交際とパパ活の違い

「あんまり考えたこと無かったですけど、援助交…まあ近いですよ。でも、援助交際の方がもっと上な年代なのかなって思っていました」。(パパ活の大人っていうメニューは、パパ活に) 入ると思ってました」と語る。まりさんにとって、パパ活は、「顔合わせ、食事、大人」で成り立つものである。

パパ活男性が最終的に大人を求めていることは、「なんかもうアプリ内で話しているときに、大人(まで)行けるかの確認みたいなのは、結構ありますね」からもうかがい知れる。

パパたちが顔合わせと食事に金銭を支払う動機については、「逆に何でやってるんだろう？」と思っている。パパ活でのパパとの会話については、「割と(彼女自身について)聞かれることのほうが多いですね。普段、何してる？とか」に対して、筆者が「それは、正直に答えるの？」と尋ねると、彼女は「いや、まあ半々くらいですかね。でも、部活のこととかだと結構、普通に喋ります」と答えている。

パパ活をやってよかったこと

「お金のことぐらいしかありません。そんなに」と答えている。

パパ活＝売春

「あんまり考えていません。考えたらできないなと思って」

まとめ

みくさんが語った「パパが探してるのって大学生だったりとか20代前半だったりする」という話や、まりさんの「なんか今20歳前なので、やるなら今しかないかなーって(笑)」という発言や「あと大学生って一番暇なんで。時間があるし、授業がない平日の日とかもあるので、コスパ良いかなって思っちゃいます」という発言があった。パパ活女子(PJ)のコアである「女子大生」にインタビューができた。ナナミさんやらんさんのように、元プロや現プロでAC系ではなく、みくさんのように障がい者で「大人はしない」というタイプでもない。類型については、筆者が以前提示した援助交際女性の4つの類型について説明すると、自分はバイト系で、「時給1万円くらいのバイト、はい」として答えている。筆者も、まりさんには、家族の問題も、大きなトラウマも、嗜癖(有害な習慣)もないので、効率追求型のバイト系であると考えられる。

3-5. あゆ(画像6)

生い立ち

あゆさんとは、東京新宿で2022年7月18日に会いインタビューを行った。学習院大学の3年(21歳)で、身長167センチ、56キロ、Cカップでスレンダーな体型をしている。パパ活アプリ『Love

& (ラブアン)』に掲載している写真は「写真の場合はスタイルが分かりやすい全身のやつと、(顔は) いちよーあのアイコンとかも無加工にしてて」と無加工の写真を掲載しているが、いわゆる「奇跡の1枚」でインタビューのためで会ったときは本人とはわからなかった。彼女が会って最初に発した言葉が「今日生理なんですー」だった。これは「会ったけど、今日は性交はできませんよ」、つまり初対面でいきなり大人は「できません」というメッセージであると受け取った。彼女はバイトを行っておらず、趣味が『Sky：星を紡ぐ子どもたち』や『ダイマジーク(?)』などのゲームにハマっているオタクであり、「アニメキャラのグッズ集め」に結構な額の金銭を使っているという。

家族構成は、エンジニアの父(52歳)、経理事務の母、税理士合格のために公務員浪人をしている姉がいる。姉はパパ活の経験があり、たまに姉妹でパパ活について会話しているという。将来は公務員になりたいそうだ。



[画像6 あゆさん
：上半身顔下の画像
2022.7.18 筆者撮影]

初体験と恋愛

高校1年生の時に、ネットゲームで知り合った16歳の彼氏と初体験をして、その関係は1年間続いた。2人目は高校2年生の時に会った。「でも初めの方は1年だったんですけど、次が本当2ヶ月とか1ヶ月ちょっととか、なんか続いて半年弱みたいな感じで」、3人の男性と付き合いが、長続きはしなかった。セフレが1人いた時もある。

パパ活のメディア

あゆが使用している出会い系メディアは、出会い系サイトの『ハッピーメール』とパパ活アプリ『Love& (ラブアン)』である。『Love& (ラブアン)』は本当先週始めたから、顔合わせで2人会っただけです」と、あとの残りは『ハッピーメール』で会ってきたそうだ。『Love& (ラブアン)』については、「なんかラブアンドきて、すごいなんかー、そもそもメッセージ送るにもマッチングしなきゃ話せないじゃないですか?その制度とかーで、一気にフィルターかけれるし、なんかこのサイトはすごいしっかりしてるなーとは思いました」と語っている。出会い系サイトの『ハッピーメール』と違い、『Love& (ラブアン)』の作りがしっかりしていると話している。

パパ活

「大学1年の冬くらい」に始めたパパ活で、休止期間もあって、合計10人くらいと出会ってきて、合計50万円以上稼いだという。「親はたぶんバイト(を)頑張ってると思ってるんですけど」。

彼女が設定する価格は、顔合わせ5千円、食事1万円、大人3万円であり、パパ活市場では、「良心的な」の価格設定である(顔合わせ5千円から1万円、食事1万円から2万円と幅がある)。所属大学である「学習院」については「言わないです」と答えている。

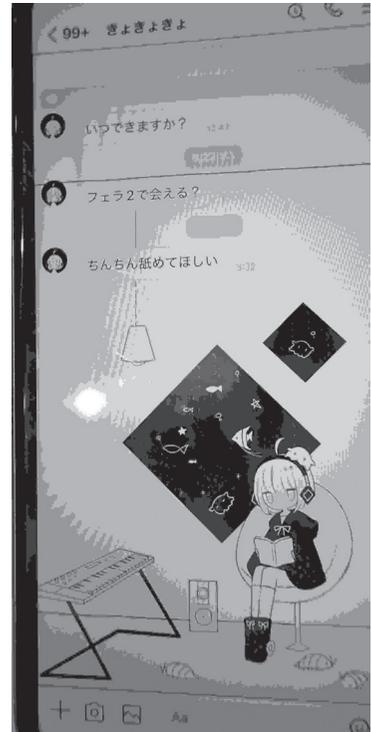
彼女が会ってきた男性たちについては、「4、50代が多かったです。容姿は一、えー、2、3くらい」で、会社員で「ITとか多かった」らしいが、他に「自営業の方で、社長の人は1人」いた。筆者が「パパ活男性はやっぱりモテない人が多い？」と尋ねると、「そうだと…思いますけど」と肯定する。

昨日(2022年7月17日)渋谷で会った人は36歳の男性で、「顔合わせなので5千円」を受け取り、「顔は4、5くらい」の人だった。次回は、24日に40代の高校教師と会う予定である。

パパ活での食事デートでは次のようなエピソードがあるという。「肉寿司を食べて、めっちゃ凄めっちゃ凄いとこ連れてってもらっ」たことがある。「私、本当に知らないから、世界だから、なんかガチでめっちゃいろいろ、「えっ凄い！」みたいなテンション上がってたらなんか反応が面白かったからってなんか2万にしてくれ」たことがあった。つまり、あゆさんが食事デートで約束1万円のところ、肉寿司に連れて行ってもらって、「凄い！」を連発していたら、2万円もらえたというエピソードである。

パパたちが求めているものについては、「若い方とそもそも触れ合う機会ないじゃないですか？だからなんかそゆことなのかな。とかあとは既婚者の方とかもいて、その結婚してからその家庭でやることはないみたいな」と話し、若い女性と触れ合う機会がないこと、既婚者男性の場合はセックスレスで家庭の外にその機会を求めていると考えている。

怖いのは親バレで、1人暮らしもしたいし、「もうバレた瞬間(家を)出ていきますよね」と語っている。



[画像7 あゆのライン画面
:Pとの「フェラ、2万」の交渉]

大人

彼女はこれまで10人ほどとパパ活を行ってきたが、「大人までいったのはえっとー3人とかですかね」と話す。彼女の大人の条件は「ゴム付き」で、埼玉県の大宮と浦和で大人を行ったときには「だいたい貰うのは2万5千円から3万5千円くらいで」あった。大人は「あんまない。なんか早々に定期さんを見つけて、でなるべくそんな大、大人数の方とはやりたくないの」と話し、理由は「危険性も増えるので」と1回限りの大人を繰り返すことはリスクが高いと認識している。大人については、「なんかーそのパパさんでもやっぱその(男性器の)形だったり大きさだっただけ違うじゃないですか。まあ人によってはなんか正直そんなに感じないって思う人もいるし、感じる人もいますね」と話す。筆者が「エッチの際は感じたりする？」と尋ねると、「そう、ですね」「(イク時も)ありましたね」と答えており、大人での性交では感じるし、イクこともあると話す。

彼氏とパパとのセックスの違いについては、「幸福度」が違うと話し、「パパ活とかだと、やっぱり一向こうが求めてくる以上のことはまあしないですね」と自分から積極的に動くことはないらしい。彼氏には能動的な性交を行うが、パパ相手には受動的な性交を行う。

定期とすっぽかし

『ハッピーメール』で知り合う定期（長期契約）のパパを持ったことがあり、半年くらい関係は続いた。「1回3万」で「月に2回くらいでした」ということなので、半年間で36万円稼いでいたことになる。「海外転勤とか多い」48歳の男性であった。筆者が「48歳の人とエッチをするのは抵抗なかった？」と尋ねると、「めっちゃありましたね」と答えた。「九州かな（？）の方に転勤する」ということで定期の関係は終わった。ちなみに、定期の関係を男性側が切りたい場合、理由として持ち出すのが「転勤」である。

すっぽかしをされた経験は「1回ある、町田で1時間」で、真面目な彼女は『ハッピーメール』で来るメッセージに従って、3カ所くらい移動させられたようだ。最終的に男性と会ったが、「なんかあまりにも違いますか？って言われて顔とかがみたいな。私加工してないし、しかもマスクつけててメイクしてるわけじゃないですか。だから例えば一、ホテルとか入ってうわこいつ全然違うなって思うのは分かるんですけどー、なんかそんなに変わるわけなくない？とか思いながら一まあそれでなんかなんか、なんかあまりにも違くないですか？だから帰ります」と言われて、終わった。

パパ活は今後も「まあ続けると思いますね」と話し、定期を探したいようだ。

高校時代の友達

「パパ活をやっていたのは1人くらい 食事だけの内容で1回1万円」で行っていたらしい。食事の相場くらいを稼いでいたようだ。

パパ活と援助交際の違い

あゆは「あんま違いがそんな分かんないですけど」と話す。

まとめ

あゆさんは大学1年生の時からパパ活を始め、2年くらいの経験がある。毎週のようにパパ活を行っているタイプではなく、金銭がなくて時間があったらパパ活を行っているようだ。10人くらいを相手にしたパパ活のうち、大人が3人、そのうち定期が1人である。パパ活にはリスクが伴うので、安定した関係の定期を探している。姉もパパ活をしていたらしく、姉妹の共通の秘密になっている。パパには依存したりすることもなく、彼女自身に欠落はなく、家族にも問題が見られないので、筆者が以前提示した援助交際女性の4つの類型では、バイト系に該当する。あゆさんのように、金銭に困った時に時間があればパパ活を行うみたいなタイプが若いPJには多いのではないかと考えた。

3-6. かりん（画像8）

生い立ち

かりんさんとは、北海道札幌市で2022年8月7日に会い、インタビューを行った。札幌郊外在住の看護大学の3年（20歳）で、身長164センチ、Cカップの痩せ型である。自己評価顔3で、「（整形とか）めちゃくちゃ考えます」と答えている。出会い系メディアは、パパ活アプリの『paters

『ペイターズ』と『Love& (ラブアン)』、『paddy (パディ)』を使用している。パパ活アプリについては、「1 番人数多いのは『paters (ペイターズ)』ですかね」、「『Love& (ラブアン)』と『paddy (パディ)』は少ないですけど、何かちょっとお金持った人が多いイメージはありますね」と語る。

彼女はバイトを2つ(スーパーレジ920円とコールセンター(進研ゼミ)1200円)を掛け持ちしている。また、二次元オタクとゲームオタクで「音ゲー」にハマっており、ゲーム課金の累計が50万円以上で、ゲームイベントの東京遠征に月1回で行くので、金銭が必要らしい。

家族構成は、会社員の父(50歳)、パートの母、妹がいる。親バレしたら、両親は「悲しむっていうか、もう縁(を)切られると思いますけどね」と話す。将来は看護師になり、30歳までに結婚したいそうだ。



【画像8 かりんさん
: 大学の学生証を手で覆い、その上の部分だけを見せているところ 2022.8.7 筆者撮影】

初体験と恋愛

初体験は大学生になってからできた彼氏で19歳の時である。その恋愛はかりんさんが「ちょっと恋愛向いてなくて」1ヶ月半しか続かなかった。「うーん自分から好きにならないとちゃんと好きになれなくて」。ちなみに、一応彼氏みたいな存在は高校時代にいたらしい。

パパ活

きっかけは「大学の友達」で、「楽だよみたいな。言い方してましたね(笑)」と誘われた。その友達は「多分大人やって稼いでた。10万」。

2021年8月から始める。パパは「40、50代が多い」。パパ活で100人くらいの男性と会い、「150万(円)くらい稼いだ」。「貯金70万(円)」がある。

1人目は、『paters (ペイターズ)』で、かりんさんの顔評価4で、高級寿司の食事デートで2時間1万円であった。2人目は、顔合わせでカフェで会って1万円をもらった。一番最近は、かりんさんの評価顔3の医者とのパスタの食事デートで1万円を得た。

「今後もパパ活を続けるか？」と尋ねると「続けると思いますね」と語り、しばらくは続けるようだ。

大人

10人で行った。大人を始めたのは、「(パパ活を)始めて2ヶ月後くらいですかね」。そのときはバイトで「当時は(月)5、6万円くらい」稼いでいた。「私が4(万円)以上じゃなきゃやんないって」と決めており、その理由は「3(万円)を出せる人は結構いるんですよ、4ってなったらちょっと渋る人結構いると思うんですよ」と、自分を相場より高く売りたいと考えている。

初めての大人は、「香水が臭い人」という40代の男性で3万円で行った。思ったより「そこまで気持ち悪いみたいなではなくて」みたいな感じで終わった。

よく覚えているのが、「60歳くらいのちょっとおじいちゃんみたいな人で、大人で6で、それ

にプラス買い物みたいな。まあ、3、4回くらいしか続かなかったんですけど」というパパ活があった。ヴィトンの財布を買ってもらった。「その60歳は性交の時に勃起したの？」と尋ねると、会った回数「半分くらい」であった。パパ活女性にとって、高齢の男性は大人であっても「立たない」ケースがあり、挿入なしで済むので、ラッキーな場合がある。60歳くらいのおじいちゃんとの性交は、「気持ち悪いちゃ気持ち悪いんですけど、まあお金と物で割り切ればって感じです」と語る。あと嫌だったのが、「何か匂いとかがちょっと、やだなって」と体臭がダメだったらしい。

大人中の性交は「受け身には近いです。ほぼ受け身ですけど、まあ多少演技はしつつみたいだな」感じでやっている。条件は「ゴムあり」で、「フェラあり」。「たまーに」に、演技もするし、イクとかやったりする。筆者が「感じたりする時もある？」と訊くと、「まあ人によりますけど」、感じることもある。一番体の相性が良かったのは、「(定期じゃない人で)1番相性良いのは別の人」で、「会社経営とかそっちの人で若い人でしたね。30前半」の男性で、「3、4回くらい」大人で会った。

定期

大人相手のうち定期は半分くらいいた。彼女によると、2、3回会った人でも定期に区分している。長くて「半年か、8ヶ月」で、会社員の男性で、1回3.5万円で月2回会っていた。男性の「転勤」で終わった。

今の定期は、あゆの評価顔9で、30代後半の医院長で、「食事とか飲みだけなら2時間」2万円の食事デートで始まり、4、5回目で大人の関係になる。大人は週1回4万円である。あゆの方が「好きになっちゃって、結構困ってますね」と話す。好きになった理由は、「まあ顔が好きなのと、まあ優しいですよ、普通に、気遣えるしとか、一緒にいて楽し、変に気、まあ気遣うじゃないですかでも、割と素でいられる」からだという。パパ活男性の理想として存在する、パパ活から関係を始めてPJを「本気」にさせることになった事例である。パパ活から始まる「マジ恋」もあるのかもしれない。あゆさんの自己評価で顔3と医院長の顔9とのギャップを埋めるために、恋愛感情が生まれたのかもしれない。普段の連絡はなく、「(LINEでの連絡)ないです。あっちは割り切ってるんですよ」とモヤモヤとした気持ちを話す。筆者が「今のその定期のパパとのエッチは感じる？」と尋ねると、「その人は私が好意を持ってるからっていうのもありますけど普通に全然」感じるが、イクことはない。

友達と情報交換

大学の「3人くらい」の友達とパパ活について情報交換を行っている。「私の周りとその趣味とかが一緒のタイプが多いのでそのお金に使うからっていうので」知り合ったらしい。友達は、芸能人の「追っかけ」とかで金銭を使っている。情報交換は、「愚痴だったりとか、こないだの人キモかったみたいな、遅刻してきて何とかでとか」を話し合う。

やり逃げ

『paddy (パディ)』で大人の約束で会って、「一回逃げられたことがあります」。性交は行ったけど、「結果的にはお金は払われなかった」。パパ活友達の中には、「それこそ逃げられたとか、ドタキャ

ンされたりとか、家に連れこまれたっていうのもありましたね」と、かなり危ない目に遭っている友達のパパ活女子大生もいる。

まとめ

かりんさんは大学2年時からパパ活を始め、ちょうど1年の経験があった。3つのパパ活アプリを使い、40、50代を中心としたパパたちと100人ほど会い、食事デートや大人、定期で「150万（円）くらい稼い」でいて、「貯金（が）70万」ある。北海道の札幌市のように、パパ活アプリのタイムラインであまり投稿が流れない地域で「身バレ」せず稼ぐのはたいへん難しいことである。かりんさんは200万は行かないが、150万以上は稼いでいるので、12ヶ月で割ると平均月13万円を得ていることになる。毎週のようにパパ活を行っているタイプである。大人も10人のパパ相手に行き、定期もいる。

現在の定期のパパに恋愛感情を抱き、困っていると言う。「ちょっと恋愛向いてなくて」と自覚しているかりんさんがそのパパに対して恋愛感情を抱いている。同年代の男性との恋愛はうまくいかないらしい。また家族にも問題が見られない。筆者が以前に提示した援助交際女性の4つの類型では、バイト系とAC系に該当する。かりんさんのように、「1日私も最大詰めれて3件とか。昼と夕方と夜とか」ではしごができる。セミプロに当たるパパ活女性である。

参考文献

- 圓田浩二，2001，『誰が誰に何を売するのか？－援助交際に見る性・愛・コミュニケーション－』関西学院大学出版会。
- 圓田浩二，2004，「援助交際のフィールドワーク」好井裕明・三浦耕吉郎編『社会学的フィールドワーク』世界思想社，pp.167-200。
- 圓田浩二，2005，「少女を巡る売買春への対応－沖縄における援助交際問題－」『現代の社会病理』第20号，pp.35-48。
- 圓田浩二，2006，『援交少女とロリコン男－ロリコン化する日本社会－』洋泉社y新書。
- 圓田浩二，2011，「ポルノ化する援助交際－「援交もの」と児童ポルノ－」大浦康介編『共同研究 ポルノグラフィ』平凡社，pp.268-287。
- 圓田浩二，2022a，「「援交ブーム」以降の援助交際－何がどう変わったのか？－」『沖縄大学経済法商学部紀要』第5号，pp.19-32。
- 圓田浩二，2022b，「「パパ活」の定義論－「援助交際」と何がどう違うのか？－」『沖縄大学経済法商学部紀要』第5号，pp.1-18。